

オーディオ実験室収載

fidata HFAS1-S10 の活用(30) (HP 収載)

—DAC との LAN 接続(2)—

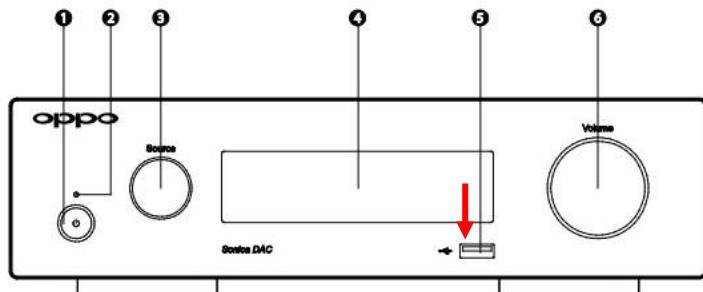
1. はじめに

前報(29)に引き続き、DAC との LAN 接続について見直していきます。

2. Sonica DAC との LAN 接続の試聴計画

Sonica DAC には前面に USB ポートがあり、ここに USB 媒体を接続することができます。今回は、ここにサムソンの USB-SSD の T3 を接続してみました。

本体前面



1. 電源ボタン	2. 電源インジケーター	3. 入力選択/操作ノブ
4. 前面ディスプレイ	5. USB ポート (Type A, ホスト)	6. 音量調節ノブ

Sonica DAC 前面図



操作は、iPad にインストールした Sonica アプリを使用し、USB-SSD 収納の音源を再生します。

3. Sonica DAC との LAN 接続の試聴結果

今回は、音質評価はさておいて、USB 媒体収納音源の再生がどのようなものかの確認です。

USB-SSD 収納音源は、PCM と DSD の各種音源がありますので、iPad の Sonica アプリの画面の USB-SSD 収納音源を指定して再生します。

その結果、PCM 音源では、CD および MQA-CD からのリッピング 44.1KHzWAV の音源が再生可能でした。

一方、DSD 音源では、一部の 2.8MHz の音源が再生可能でしたが、5.6 MHz 以上のものは再生できませんでした。このことは HFAS1-S10 収納音源の場合と同様の結果です。

音質的には、Sonica DAC に仮想アースを接続するなどの対策を施しているので、印象は変ってきております。

4. まとめ

Sonica DAC と USB-SSD との接続を追加し、USB-SSD 収納音源の再生が可能になりました。

以上